

神楽坂



路地と坂道が人を癒す粋なまちの持続 山下 馨

江戸のまち神楽坂は、いま東京の中で希少な風情を残す粋なまちとして多くの来街者で賑わうが、これはここ数年のハード・ソフト様々な街づくり活動の総体としてもたらされたものである。今回は過去の活動の紹介と今後の事業計画から景観や地域資源をマネージしていくための取り組みとして、地区計画の拡充、街並みルールへの運用、ユネスコ協会未来遺産活動、黒塀プロジェクト、景観文化材制度等を通じて、個性あるまちの姿を次世代に繋いでいくための目論みを紹介する。

5月20日(木) 19:00~21:00

山下 馨 (NPO法人粋なまちづくり倶楽部常務理事・山下 馨建築アトリエ)

- 会場: 本郷瀬川ビルホール 6階
東京都文京区本郷2-35-10
- 主催: NPO景観デザイン支援機構(TDA.J)
tel:080-6722-4114
- 参加費; 一般; 2,000円
TDA正会員・賛助会員・学生; 1,000円
お申し込み: <http://www.tda-j.or.jp/>

